ろうさいニュース

第７２号　2008年7月1日

地域医療支援病院・地域がん診療連携拠点病院・臨床研修指定病院（管理型）
労働者健康福祉機構　新潟労災病院
〒942-8502　上越市東雲町１－７－１２　　電話：０２５(５４３)３１２３

患者図書室について

病院長　　酒　井　邦　夫

作家の遠藤周作氏や吉村昭氏など、若いころ結核で長期の入院や療養生活を余儀なくされ、その間に多くの本を読み、思索を深められた方は少なくないようです。「生き方上手」などのベストセラーで知られる聖路加国際病院の日野原重明先生も、若い頃に結核性胸膜炎で療養生活を送っておられます。最近の急性期病院の入院期間は昔と比べてずいぶんと短くなっておりますので、入院期間中に本を読む時間も少なくなっているものと思われます。しかし私自身の最近の短期間の入院生活を振り返ってみても、入院中に無性に本を読みたくなることがありました。現在においても、入院・療養生活と読書とは切っても切れない関係にあるように思われます。

６年ほど前に病院長として当院に赴任して以来、入院されている患者さんの心を少しでも癒すために、何かできることはないかと考えてきました。最初に、友人の医師で絵画を趣味にしている神山努氏や小林晋一氏に依頼して、絵を何点か寄贈していただき、外来廊下の壁面等を飾っていただきました。無機質の壁面から受ける圧迫感が少しは和らいだものと自画自賛しておりますが、如何でしょうか。

患者さんのための図書室についてもずっと検討はしてきたのですが、当院のような経営に苦労している中規模病院では、まずスペースの捻出が難しく、なかなか実現できませんでした。しかし平成１５年５月の健康増進法施行以来、病院等の公共施設における受動喫煙防止規制が強化され、当院も平成１９年４月より敷地内禁煙に踏み切りました。ここで外来の一角に設置していた「喫煙室」が不要となったために、この部屋を模様替えして「患者図書室」とし、本年６月５日に開設した次第です。喫煙による癒しに代えて、読書による癒しを得ていただければ幸いと考えております。

当院の「患者図書室」は、職員の寄贈図書を中心に、ボランティアによって運営されている、文字通りの「手作り

図書室」です。もう手放してもよいと思われる図書で、入院している患者さんに読んでほしいものがありましたら、ご寄贈いただければ幸いです。また図書ボランティアを募集しております。いずれの場合も当院総務課（電話：025-543-3123、メール：info@niirou.jp）にご連絡くださるようお願いいたします。

よろしくお願いします！（新任医師自己紹介）

呼吸器外科副部長　　岩　田　輝　男

６月より呼吸器外科に赴任しました岩田です。出身は長崎、平成 11 年卒です。労災病院勤務は初めてです。病院診療、地域医療に貢献できるよう、微力ながら全力を尽くす所存です。趣味はソフトテニス、特技はボウリングです。どうぞ宜しくお願い致します。

☆☆☆　医師交代のお知らせ　☆☆☆

転入		転出	
（7/1）内科医師	木村（きむら）　陽介（ようすけ）	（6/30）内科医師	田中　淳一
〃	渡辺（わたなべ）　憲弥（けんや）	〃	小林　哲朗

プロフィールについては、次号でお知らせします。

看護師募集！

当院では看護師を募集しています。来年３月に学校を卒業される方、Ｕターンで職をお探しの方、あるいは働く意思をお持ちの方はご連絡ください。勤務条件は、ご相談に応じます。

ボランティア募集！

当院では患者図書室での対応や資料の整理などを手伝ってくださるボランティアの方を募集しています。

図書の仕事が未経験の方も大歓迎です。ご応募お待ちしています。

連絡先　新潟労災病院　総務課
電　話　０２５－５４３－３１２３
ＦＡＸ　０２５－５４４－５２１０
E-mail　info@niirou.jp
担　当　川　村

人は血管とともに老いる

健康診断部長　　島　矢　早　苗

「A　man is as old as his arteries.」 (Osler)

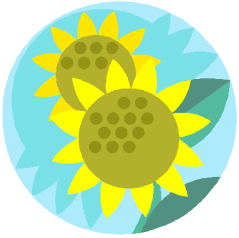
これはアメリカの医学者、オスラー先生（William Osler 1849-1919）のことばです。これを受けて三井記念病院の山門先生が、「人は血管とともに老いる。ならば、血管が若々しくあれば人は若々しく老後をすごせるだろう。」と説明をしておられます。生活習慣病とは基本的に動脈硬化症であるということなのです。生活習慣病という名称は、平成８年 12 月に厚労省の公衆衛生審議会で初めて成人病に変えて使われました。以後社会的に認知され、現在に至っています。

生活習慣病は狭い意味では脳、心血管疾患を指します。もっと広くとればその前段階である高血圧、糖尿病、脂質異常症、高尿酸血症、肥満等生活習慣と関係が深い疾患を指します。昨年の日本動脈硬化学会で「脂質異常」ということばが使われていますので、「高コレステロール血症」ではなく「脂質異常症」に変わっています。

生活習慣病は基本的には遺伝と環境（生活習慣）によって発症します。がんも遺伝の要素がきわめて強いですが、たばこをはじめとする生活要因も深く関与しています。すなわち生活習慣病はこれらが複雑に関連して発症します。

遺伝と生活習慣からあるブラックボックスを介して高血圧、糖尿病、脂質異常、高尿酸血症が起こります。高尿酸血症も動脈硬化の大きな原因であることがわかっています。これらによって動脈硬化が起こり、その結果脳梗塞、心筋梗塞が起こる。それを防ぐには動脈硬化をしっかり抑える必要があります。動脈硬化を抑えられないと脳梗塞、心筋梗塞は予防できない。これが「生活習慣病とは動脈硬化症である」と考えられるゆえんです。

さらに肥満、高血圧、糖尿病、脂質異常症は今までそれぞれが独立したものとして取り上げられてきましたが、これらの病気の前段階に内臓脂肪の過剰蓄積がありこれが身体にさまざまな異常をもたらすこと、たとえ少しずつの異常でもそれらが積み重なることで病気の発症が著しく増大することが判明しました。このリスクの集積した状態が生活習慣病、メタボリック症候群です。



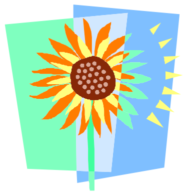
“ 紫外線療法外来 ” 開設のご案内

新潟労災病院では、皮膚科医師が複数化されたこと並びに新しい紫外線治療器（ナローバンド UVB と UVA を搭載した装置）を導入したことに伴い、平成２０年7月１日より、下記により「紫外線療法外来」を開設いたします。下記の疾患等でお悩みの方は、ご相談ください。

記

１．診察日	毎週水曜日 午後１時半～３時半
２．対象疾患	乾癬（かんせん）、白斑、アトピー性皮膚炎、掌蹠膿疱症（しょうせきのうほうしょう）、円形脱毛症など、紫外線療法の適応となる疾患（適応に関しては最終的には医師の判断によります）。
３．受付	完全予約制 当院医事課外来係（電話：０２５－５４３－３１２３、内線１２４２）へお電話でご予約ください。
４．診察料金	保険診療で行います。
５．担当医師	**川端　一生　副部長（皮膚科専門医）** **稲　晃市郎　医師（皮膚科医）**

新潟労災病院皮膚科外来

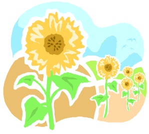


私たちの職場　６階東病棟

当病棟は整形外科 48 床の病棟で、とびっきりの笑顔をモットーに 20 名の看護師と 1 名の看護助手が、抜群のチームワークと愛あふれる看護を目指しています。

看護師は患者様の環境、安全、苦痛緩和そして心のケアを第一に考え関わっています。また、他職種と連携をとり、入院中はもちろん、退院後の生活を考え、患者様や家族の方と話し合いを行い、きめ細かな看護や指導を行なっています。

６東病棟の年間手術件数は 400 件で、変形性股関節症、変形性膝関節症の手術がそのうちの 100 件を占め、人工関節の手術では、上越地域で一番の手術件数を誇っています。



「投書箱から」

新潟労災病院では、患者様から投書いただいたすべてのご意見を、患者サービス向上委員会（委員長：武藤祐一部長）において検討し、対策を講じております。また、投書の一部については、病院からの回答とともに、1～２か月おきに病院正面玄関の待合ホールに掲示しております。この度、投書いただいたご意見の中から 1 通を選び、病院からの回答と共に掲載することといたしましたのでご案内いたします。

ご意見

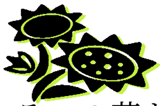
６月２～４日まで入院しました。その時、夜暑くて寝苦しく、あまりよく寝られなかった。

病院からの回答

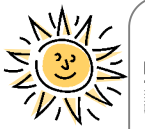
当院では、温度・湿度を勘案して冷房運転を実施しております。今年度の冷房運転期間は原則として次のように予定しております。

冷房運転期間	６月２０日（金）～９月１５日（月）	
冷房時間（病棟）	梅雨明け前	８：１５～１７：００
	梅雨明け後	８：１５～１９：００
冷房時間（外来）	梅雨明け前	８：００～１７：００
	梅雨明け後	８：００～１７：００

「みんなのひろば」



パステルカラーの花たちが、いつしか真っ赤なサルビアやグラジオラス、黄色のヒマワリなど、夏の花々にかわってきました。この季節、病院から見える青い山々、ゆったり流れる関川、時に佐渡ヶ島を浮かべる日本海・・・　体の傷も心の痛みも癒えるようです。



H17年８月から「みんなのひろば」では、
皆様から短歌や俳句、川柳などの楽しい作品をお寄せいただきました。
この度、新コーナーに席を譲り、
「みんなのひろば」を閉じさせて頂くことになりました。院内外の皆様とのふれ合いが少し減り、とても残念です。引き続き、披露したい作品やご意見がありましたらお寄せください。
適宜掲載させていただきます。
３年間、沢山の方々に出会えましたことに感謝いたします。どうもありがとうございました。

・心から 人の支えにならんとし
されど 人から支えられ生く
・いく度も 繰り返し詠む
「ありがとう」
感謝の気持ち 褪せることなく

３年間に出会った方の数・・・２３名
お寄せいただいた作品数・・・１９７

「みんなのひろば」担当：水島

☽☆☽☆☽☆☽☆☽☆　散　歩　道　☽☆☽☆☽☆☽☆☽☆

みなさん挨拶してますか？

コミュニケーションの始まりは挨拶からと言われますが、みなさんの職場はコミュニケーションとれていますか？
外国の方は挨拶が上手!!道やオフィスでも気軽に「おはよう」、「こんにちは！」、「元気？」などと声を掛け合っていますよね。我々日本人は人見知り・恥ずかしがりやさんが多く（？）素直に挨拶が出来ないのかもしれませんね。
私が通っている歯医者さんは、先生をはじめスタッフ全員が「こんにちは」、「おまたせしました」、「お疲れ様でした」と、とても気持ちよく声を掛けてくれます。治療でナーバスになっている時もその一声で癒されます。
当院も患者さまにはもちろんのこと職員同士が声を掛け合うことでコミュニケーションのとれた働きやすい職場でありたいと思います。

（K．N）

７月　人間ドック(日帰り)等の予約状況

平成２０年６月２４日現在

日にち ／ 項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
特定健診	×	×	×	ー			ー	×	×	×	ー			ー	×	×	○	ー		
人間ドック(日帰り)	×	×	×	ー			ー	×	×	×	ー			ー	×	×	○	ー		
女性専用外来	ー	ー	ー	ー			ー	ー	ー	ー	ー			ー	○	ー	ー	ー		
睡眠時無呼吸外来	ー	ー	ー	ー			×	ー	ー	ー	ー			×	ー	ー	ー	ー		
禁煙外来	○	ー	ー	ー			ー	○	ー	ー	ー			ー	○	ー	ー	ー		

日にち ／ 項目	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
特定健診		×	○	×	ー			ー	○	○	○
人間ドック(日帰り)		×	×	×	ー			ー	×	○	○
女性専用外来		ー	ー	ー	ー			ー	ー	ー	ー
睡眠時無呼吸外来		ー	ー	ー	ー			○	ー	ー	ー
禁煙外来		○	ー	ー	ー			ー	○	ー	ー

○予約可能　×空き無し

＊ お申込み・お問い合わせ　　空き状況等をご確認の上お申し込みください。

医事課医事係　小松　　TEL025-543-3123　内線 1233

＊ ドック・オプションのご案内

項目		内容	金額(税込み)
基本検査	診察	視診、触診、打聴診	３０，０００円
	身体計測	身長、体重、肥満度、体脂肪、血圧、視力、聴力	
	血液学的検査	赤血球、ヘモグロビン、ヘマトクリット、白血球数、血小板数、血液像、血液型(ABO、Rh)初回のみ、TPHA	
	血液生化学検査	肝機能(総ビリルビン、GOT、GPT、γ-GPT、ALP、LDH) 腎機能(BUN、クレアチニン) 脂質(総コレステロール、中性脂肪、HDL-C、LDL-C) 血清蛋白、尿酸、リウマチ反応、CRP、血沈	
	肝炎検査	HbsAg、HCV	
	糖尿病検査	空腹時血糖、ヘモグロビン A1c	
	腫瘍マーカー	CEA、αFP	
	尿検査	蛋白、糖、潜血反応他	
	便検査	潜血反応(2 日法)	
	胸部Ｘ線検査	胸部直接Ｘ線写真	
	腹部超音波検査	肝臓、胆嚢、膵臓、腎臓、脾臓	
	生理検査	安静時心電図、呼吸機能	
	眼科検査	視力検査、細隙燈検査、眼圧検査、眼底写真	
	耳鼻咽喉科検査	聴力検査	
胃癌検診		胃カメラ（経鼻内視鏡、経口内視鏡の選択が可能）	１５，０００円
		胃透視	１０，０００円
肺癌検診		ＣＴ	９，０００円
		喀痰細胞診	３，５００円
子宮癌検診		子宮頚部細胞診・内診（第１・３・５の火曜日のみ）	３，５００円
乳癌検診		マンモグラフィ・触診	６，０００円
前立腺癌検診		ＰＳＡ測定	１，８００円
骨粗鬆症検診		骨密度測定（エックス線検査による）	３，６００円